

2021 年度実施概要

学校名

北海道厚岸翔洋高等学校

採択活動名

地域の産業や環境特性を通して、海の仕事の魅力を知る
～厚岸湾の魅力と可能性を知る～

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 調査研究・商品開発	3	水産
2. 漁業実習	1、2、3	水産
3. 講話	2	水産

取り組みの概要

1 目的

地域の環境特性を理解し、地域の課題解決に向けた探究的な学習を行うことで、情報を収集し、整理・分析する能力を身に付けさせるとともに、身に付けた知識を活用し、他者と協働することにより具体的な課題解決を図る姿勢及び能力を身に付けさせることを通して、持続可能な地域社会の担い手を育成すること。

2 取り組み概要

・小学生、中学生との地引網による生物及び環境調査実習

海洋資源科生産コース2年生10名（総合実習）が、令和3年7月13日厚岸町立真龍小学校3年生35名、10月12日厚岸町立厚岸中学校1年生23名、10月19日厚岸町立厚岸小学校5年生15名と一緒に厚岸町の干潟にて実習を実施した。また、本校生徒が地引網と採集生物について児童生徒に説明した。

・カキ養殖実習

海洋資源科生産コース2年生10名（総合実習）が、地域の地場産業の一つであるカキ養殖について、かご替えや殻掃除など通年にかけて取り組んだ。

・水産生物の調査及び海産物を活用した商品開発

海洋資源科3年生24名（課題研究）が、班ごとに水産に関する調査研究や未利用水産資源などを活用した商品開発に取り組んだ。

・沿岸漁業実習

海洋資源科2年生10名（総合実習）、3年生16名（課題研究・総合実習）が、地域の中心的な漁法である刺網やかご等を利用した漁業実習を行った。

・小・中・高クリーン大作戦

厚岸小学校、厚岸中学校、本校の児童生徒275名が14班に分かれて厚岸町内のゴミ拾いを行った。

・出前授業

海洋資源科3学年3名（課題研究）が、12月22日厚岸町立真龍中学校と厚岸中学校の全校生徒に対し、課題研究で取り組んだ成果を発表した。

・地元漁業者による実技指導

海洋資源科生産コース2学年10名（総合実習）が、カキやアサリの養殖について地元の漁業者から最新の技術を教えていただいた。

活動中の写真



児童・生徒が力をあわせて網を引く、地引網の体験



高校生が児童に対して魚の説明



厚岸町立真龍中学校における成果の発表